



鈴木正三組合長あいさつ

不断の自己改革の実践 生産資材価格高騰への対応

あいさつで鈴木正三組合長は、「コロナ禍での総代会開催へのご理解と日頃のJA事業へのご協力に感謝を述べました。静岡県東部地区8JAの合併については「JAふじ伊豆は、静岡県東部地区8JAの組合員の皆さまのご理解とご協力のもと、連合会や関係機関、行政の皆さまなど多くの方々にご指導・ご支援をいただき誕生しました。関係各位には改めて感謝を申し上げます」と謝意を表しました。

経営方針については「合併による強固な経営基盤をへるすに、自己改革として掲げた農家組合員の農業所得の向上や地域社会への適

切なサービスの提供を行うとともに、より高度な事業機能の発揮に努めてまいります」と不断の自己改革の実践を強調しました。

続いて、近年の生産資材価格高騰問題に触れ「生産者の自助努力では価格高騰を吸収できる状況にはない」と生産者の努力に理解を示した上で「肥料については農家組合員の必要とする数量を確保することを第一に考え、燃油・肥料・飼料・その他の生産資材については、それぞれの品目のコスト削減に向けて取り組む」とJAとしての対策を述べました。管内20市町や県、自民党県連に対しても「農業生産資材価格高騰への対策に関する緊急要請」として働きかけていく、と話しました。



特集 1

第1回通常総代会開催 事業年度本格的に始動

第1回富士伊豆農業協同組合通常総代会を6月24日、沼津市民文化センター大ホールで開催しました。新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、書面出席も導入して行った総代会には、総代総数600人中、577人(本人出席218人・書面出席356人・委任状出席3人)が出席。3議案と附帯決議案が審議され、いずれも承認・可決されました。



議長を務めた勝又芳明さん(須山地区)

総代会は、合併に伴い存続JAとなった「旧JAなんすん」の事業報告や剰余金処分案などが上程され、なんすん地区の総代が出席しました。

議長は須山地区総代の勝又芳明さんが務め、第1号議案と第3号議案、附帯決議案は普通決議により過半数以上の賛成、第2号議案は特別決議により3分の2以上の賛成を得て、滞りなく終了しました。

報告事項と議案は次の通りです。

報告事項

- 1 令和3年度(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)貸借対照表、損益計算書及び注記表の内容並びに会計監査人の会計監査報告及び監事の監査報告について
- 2 令和4年度自己改革工程表の設定について
- 3 「JAバンク基本方針」の変更について

議案

- 第1号議案 令和3年度(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)事業報告及び剰余金処分案の承認について
 - 第2号議案 定款の一部変更について
 - 第3号議案 理事に対する退職慰労金の支給について
- 附帯決議案

旧JAなんすん(存続JA)の令和3年度概況

一 概況

令和4年1月に主要4産直市を直営化し、農産物の販売強化を図りました。

農家組合員の生産性向上や省力化を図るため、スマート農業の試験運用をさらに進め、農業用ドローンなどの活用範囲を拡大させました。援農隊や援農ボランティア、農福連携を活用した労働力支援にも取り組みました。



農業所得向上に向けて産直市4店舗をJAの直営化に



スマート農業を推進

決算概要

貸借対照表

資産の部		負債及び純資産の部	
信用事業資産	402,245,704	信用事業負債	394,912,422
共済事業資産	25,743	共済事業負債	692,096
経済事業資産	652,150	経済事業負債	410,442
雑資産	835,915	設備借入金	112,845
固定資産	5,915,956	雑負債	730,009
外部出資	12,525,722	諸引当金	1,464,700
繰延税金資産	188,643	負債合計	398,322,517
		出資金	3,132,514
		純資産合計	24,067,321
資産合計	422,389,838	負債及び純資産合計	422,389,838

損益計算書

事業総利益		剰余金処分	
事業総利益	4,689,194	当期末処分剰余金	565,294
事業管理費	4,448,924	剰余金処分額	164,508
事業利益	240,270	(1) 利益準備金	72,000
経常利益	459,754	(2) 出資配当金	92,508
税引前当期利益	450,332	次期繰越剰余金	400,786
法人税等	91,202		
当期剰余金	359,129		
当期首繰越剰余金	206,165		
当期末処分剰余金	565,294		

※科目は主要なものを掲載しています。
※各数値は千円未満切り捨てにつき不突合があります。